

鳴神山



柳津小学校
学校だより

2016. 7. 20

No. 10

文責 川井 孝寿

いよいよ明日から夏休み！～楽しく充実した35日間に～

14名の新入生が加わり、一緒に遊んだり勉強したりできることを喜び合った4月6日の始業式が、ついこの前のように感じます。「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、あっという間の第1学期に感じられましたが、その71日間の様々な学習や大きな行事を通して、子どもたちは大きく、そしてたくましく成長しました。それは、子どもたち一人一人が、自分なりのめあてに向かって粘り強く頑張ったことはもちろんですが、毎日、元気で楽しく過ごせるように、学校へ送り出してくださった保護者の皆様のおかげです。私たちの思いをお汲みいただき、子どもたちへの励ましや教育活動へのご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



【学校田の田植え「収穫が楽しみです。」】

さて、いよいよ明日からは、子どもたちが待ちに待った夏休みです。明日からの35日間は家庭での生活が中心となりますが、これまでの学びと経験を生かしながら、計画的に充実した毎日をご過ごすことで、体も心もさらに一回り大きくなってきてくれることを願っています。そのためにも、事故やけが、病気には十分注意するよう引き続きお心配りいただきまして、有意義な夏休みを過ごさせてください。

夏休みに向けての「子育ての極意」！

明日から毎日子どもが家に…と考えただけで、「昼食はどうしよう？」「ちゃんと勉強するかしら？」などと頭を悩ませていらっしゃる保護者の皆様に、夏休みを乗り切る「保護者の夏バテ防止策」として、一言アドバイスをさせていただきます。

「手をかけずに目をかけろ」という言葉をご存じですか。とにかく子どもはかわいいもので、親としてついつい手を出してしまいがちになります。もちろん、ある程度の成長までは大変重要な行為であります。子どもたちは日々成長しております。「うちの子は手がかかって…」と子どもの身の回りの全てに親が手を出す時期はもう過ぎております。そこでこの夏休みは、お子さんが「どこまでできて、何ができていないのか」をよく観察し見極めながら、今までたくさんかけていた手を少し休めてみてはいかがでしょうか。子どもに責任と自覚を持たせ、任せてみるのです。もちろん、子ども自身が、自分でできることが前提ですが…。(注1)



【七夕集会「願いが叶いますように」】

その分と言っては何ですが、しっかり「目をかける」ことはお忘れ無く。実は、手をかけるよりも目をかけることの方がずっと重要で、効果も大きいと思われれます。その際に隠し味として、自分でできた時にはしっかりほめてあげることも大切です。

ここに、私の好きな言葉(大日本帝国海軍連合艦隊司令長官 山本五十六の言葉)をご紹介します。

『やって見せ、言って聞かせて、させてみて、誉めてやらねば人は動かじ』

私は、最後の『人は動かじ』を『子どもは育たぬ』と読み替えながら、日々子どもたちと向き合っています。教師にもよくありがちなのですが、『言って聞かせて』が抜けることが多いのでくれぐれもご注意下さい。と言うのも「さっき言ったでしょ」「聞いていなかったの？」という状態は、『言って聞かせた』ことにはなりません。大切なのは、子どもが言われたことをきちんと理解しているかどうかなのです。

この夏休みに、ぜひお試してください。親子共にすてきな夏休みになることをお祈りしています。

注1； 十分ご存じであるとは思いますが、子どもに自分でできる力があるからこそ「自主性」に任せられるのであって、その力が十分に備わっていないにもかかわらず、任せようとするのは「放任」です。「放任」では子どもが困るだけで何も育ちませんので、その見極めは重要です。

充実した二日間でした！～5年生の宿泊学習～

7月13日～14日にかけて実施いたしました『宿泊学習』では、事前の準備にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。朝から雨に見舞われ、活動内容が心配された二日間でしたが、無事予定の活動を終えることができました。

子どもたちの『お土産話』はいかがだったでしょうか。多少の疲れはあったと思いますが、二日間の楽しく貴重な体験談で、夕食などは大変盛り上がったことと思います。自然の中での宿泊ということで、テレビはもちろんですが、ゲームやマンガ本などもなく、非



日常的な生活を送った子どもたち。野外炊飯や入浴、就寝の準備等自分のことは自分が責任を持ってやり遂げる、また、何事にも友だちと協力しながら取り組む体験は、この時期の子どもたちにとって大変貴重かつ有意義であったと思います。保護者の皆様も、帰宅した子どもたちの様子から、大きな成長とたくましさを感じられたのでは



ないでしょうか。

この学習を通して養われたたくましさ仲間との信頼感をエネルギーとして、5年生はこれからも成長し続けていくことでしょう。今後の益々の活躍にご期待ください。

安全な夏休みに！

先日、会津坂下警察署の生活安全課の方が来校されまして、夏休み中、子どもたちを犯罪の被害や非行から守るためのリーフレットをいただきました。

現時点で、本校の子どもたちに直接関わる内容は少ないと思われましたが、事故防止という点から、一部(抜粋)を右のとおりご紹介いたします。ご一読いただければ幸いです。

なお、夏休み中の生活及び事故防止等につきましては、各学年の学級懇談会要項や「楽しい夏休みにしよう」をご参照ください。

インターネットは、なくてはならない便利なツールです。
一方で使い方を間違えると、人を傷つけてしまったり、自分が事件に巻き込まれてしまうこともあります。
ネットの向こうの顔が見えない相手には十分注意して個人情報などは安易に教えないようにしましょう。
また、お金やいやらしい写真を要求されたら大人に相談しましょう。

夜遊び、家出、無断外泊は危険がいっぱい！！
深夜において、露出が多い服装や喫煙・飲酒は悪い人をおびき寄せて、事件に巻き込まれる可能性が高くなります。時には、殺されてしまうことさえあるかもしれない危険な行ないであることを決して忘れないでください。
もちろん昼間でも、知らない人に声をかけられてついて行ってはいけません。

「いか」……知らないひとについていかない。
「の」……知らないひとの車にの(乗)らない。
「お」……おこえを出す。
「す」……すくにげる。
「し」……大人にし(知)らせる。

- 自分の将来に対する夢を持つ
- 「きまり」や「ケジメ」はきちんと守ろう
- 悪いことに誘われたら、はっきり「ノー」と言えるようにしましょう

会津坂下警察署